

令和 **5** 年度 年間授業計画 教科 **家庭** 科目 **家庭基礎**

教科: **家庭** 科目: **家庭基礎** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **2** 学年

使用教科書: **Agenda家庭基礎(実教出版)**

教科	<b>家庭</b>	の目標:
【知識及び技能】	生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意識、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な理解を固め、それらに係る技能を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の問題を解決する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。	

科目	<b>家庭基礎</b>	の目標:			
【知識及び技能】	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を固めるとともに、科学技術者の育成に係る技能を身に付けるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>単元 1</b> 生活設計	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 青年期の自立 社会の変化と家族など	【知識及び技能】 青年期の意味と自立への課題について理解し、今後の人生選択に関係する基礎的・基本的な知識を身につけている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材 教科書 プリント	【思考力・判断力・表現力】 個人の生き方や性のあり方など多様性の尊重について理解している。	○	○	○	4
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 自立の意味を理解しており、青年期の課題としてとらえ、現在の自分の課題をみいだすことができる。				
<b>単元 2</b> 保育	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 子どもの心とからだの発達 生活と遊びなど	【知識及び技能】 子どもの生活に関わる基礎的な知識やその援助の方法などを理解している。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材 教科書 プリント	【思考力・判断力・表現力】 子どもや子育てに関心をもち、将来の親としてなど、子どもが成長するためにどうしたらいいのかを、意欲的に考えようとする。	○	○	○	4
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 子どもの遊びに関わる実習などを行い、気づいたことなどをまとめる。				
1 学 期	定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説					
<b>単元 3</b> 高齢者	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 高齢社会の現状と課題について理解する。	【知識及び技能】 高齢期の問題について、自らが将来直面することとして、高齢者の生活上や福祉の問題を考えることができる。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材 教科書 プリント	【思考力・判断力・表現力】 高齢者に対する自分の現在のイメージなどについて意見や考えをまともられる。	○	○	○	2
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 高齢者の尊厳や人権について理解し、高齢者の生活支援に関する基礎的・基本的な知識を身につけている。				
<b>単元 4</b> 社会福祉	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 社会福祉と社会保障制度について理解する。	【知識及び技能】 貧困や障害者の現状、社会保障制度とその他の支援の内容を理解し、それについての基礎的・基本的知識を身につけている。				
【思考力、判断力、表現力等】	・教材 教科書 プリント	【思考力・判断力・表現力】 共生社会のあり方の基本概念を理解し、それらについての基礎的・基本的な知識を身につけている。	○	○	○	2
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 ノーマライゼーションなどの基本概念を理解し、それらについての基礎的・基本的な知識を身につけている。				
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説						

令和 **5** 年度 年間授業計画 教科 **家庭** 科目 **家庭基礎**

教科: **家庭** 科目: **家庭基礎** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **2** 学年

使用教科書:	Agenda家庭基礎(実教出版)
--------	------------------

教科	家庭	の目標:
【知識及び技能】	生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意識、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な理解を固め、それらに係る技能を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の問題を解決する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。	

科目	家庭基礎	の目標:			
【知識及び技能】	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を固めるとともに、科学技術者の育成に係る技能を身に付けるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 <b>5</b> 食生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 栄養素と食品 食事をつくる など	【知識及び技能】 バランスのよい食生活の重要性を理解している。				
健康な食生活を営むために必要な栄養、食品などの基礎的・基本的な知識と技術を理解する。						
【思考力、判断力、表現力】	・教材 教科書 プリント	【思考力・判断力・表現力】 食生活や食物・食品に関心をもち、健康を維持と精神的な豊かさを向上させるも理解し、意欲的に取り組もうとする。	○	○	○	14
さまざまな観点から日ごろの食生活を振り返ることで課題を見つげることができるようにする。						
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 調理実習において、礎的な技術が習得できており、知識と融合させて調理をする行動ができる。				
栄養や食品についての知識を元に、食品の特性をいかした調理法について理解し、実践できるようにする。						
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						
単元 <b>6</b> 食生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 栄養素と食品 食事をつくる など	【知識及び技能】 バランスのよい食生活の重要性を理解している。				
健康な食生活を営むために必要な栄養、食品などの基礎的・基本的な知識と技術を理解する。						
【思考力、判断力、表現力】	・教材 教科書 プリント	【思考力・判断力・表現力】 食生活や食物・食品に関心をもち、健康を維持と精神的な豊かさを向上させるも理解し、意欲的に取り組もうとする。	○	○	○	12
さまざまな観点から日ごろの食生活を振り返ることで課題を見つげることができるようにする。						
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 調理実習において、礎的な技術が習得できており、知識と融合させて調理をする行動ができる。				
栄養や食品についての知識を元に、食品の特性をいかした調理法について理解し、実践できるようにする。						
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						
単元 <b>7</b> 衣生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項 衣服の材料 作品製作 など	【知識及び技能】 用途や着用品に合った被服材料の選択や管理ができる。				
繊維から衣服になるまでの成り立ちを理解する。						
【思考力、判断力、表現力】	・教材 教科書 プリント 作品	【思考力・判断力・表現力】 衣服の機能について理解し、TPOに応じた適切な衣服の選択ができる。	○	○	○	12
主な衣服の機能と、着装の際のポイントについて理解する。						
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】 被服実習において、製作のための基礎的な技術が習得できており、知識と融合させて、行動ができる。				
材料や構成についての知識を元に、特性をいかした製作方法について理解し、実践できるようにする。						
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						

令和 **5** 年度 年間授業計画 教科 **家庭** 科目 **家庭基礎**

教科: **家庭** 科目: **家庭基礎** 単位数: **2** 単位

対象学年組: 第 **2** 学年

使用教科書: **Agenda家庭基礎(実教出版)**

教科	<b>家庭</b>	の目標:
【知識及び技能】	生活にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意識、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な理解を固め、それらに係る技能を身に付ける。	
【思考力、判断力、表現力等】	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、生活を見通して生活の問題を解決する力を養う。	
【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。	

科目	<b>家庭基礎</b>	の目標:			
【知識及び技能】	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、科学技術者の育成に係る技能を身に付けるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	【学びに向かう力、人間性等】	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<b>単元 8</b> 衣生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				14
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
繊維から衣服になるまでの成り立ちを理解する。	衣服の材料 作品製作 など	用途や着目的に合った被服材料の選択や管理ができる。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	
主な衣服の機能と、着装の際のポイントについて理解する。	教科書 プリント 作品	衣服の機能について理解し、TPOに応じた適切な衣服の選択ができる。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
材料や構成についての知識を元に、特性をいかした製作方法について理解し、実践できるようにする。		被服実習において、製作のための基礎的な技術が習得できており、知識と融合させて、行動ができる。				
<b>単元 9</b> 住生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				2
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
住まいとその役割について理解し、将来の適切な選択につなげられるようにする	住まいの選択 住環境の安全・安心 など	住まいと住まい方に関心をもち、住生活を安全で人間らしい充実したものにするために必要な知識・技術を身につけている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
ひとり暮らしのイメージができるようにする。	教科書 プリント	ひとり暮らしのための住まいの調査から、間取りや立地などの問題点を読み取ることができる。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
安全な住まい・住環境の確保には、多様な側面からの取り組みが必要となることを理解する。		健康で安全・快適な住環境や地域環境についての基礎的・基本的な知識を身につけている。				
<b>単元 10</b> 消費者	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				4
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
家計と経済のしくみを理解する。	暮らしと経済 意思決定と契約 など	家計の管理、家庭経済と国民経済の関わりについて基礎的・基本的な知識を身につけている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
商品の購入における契約のプロセスについて理解する。	教科書 プリント	問題解決のために、情報の選択・発信や購入の選択など、自ら主体的に判断し意思決定する力を身につけている。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
消費者を守る法律、支援制度について理解する。		消費をめぐるトラブルに直面した場合の解決方法や手段を身につけている。				
定期考査(学年末考査)/返却と解説						